

令和元年度 第7回 日野町校区審議会議事録

項 目	内 容 記 録
1. 期 日	令和2年2月13日(木) 13:30 開会
2. 場 所	日野町役場 大会議室
3. 開会(閉会)	13:30~15:25
4. 出席委員等氏名	委員：本名俊正、山本武史、神庭賢一、下村敏彦、其山守美、安達才智、緒形明朗、高田昭徳、長谷川弘信、遠藤公俊 事務局：生田 進、砂流誠吾、長谷部崇樹、遠藤律子
5. 会長あいさつ 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・校区審議会委員の任期は11月までだが、今回答申をまとめて教育委員会に提出して終了する。ただし、何かあって審議会を開催する必要があるれば招集することもある。 ・答申を出した後は、どのような教育をする学校にするのか、どこに設置するのか、校舎はどうするのかなどを検討する委員会ができて進んでいくと思う。 今までの経験を活かしてこの中から委員となる方があると思うが、他のモデルとなるような夢を語れる、夢を実現できる新しい学校をつくってほしい。 ・日本には285万人の外国人が住んでいる、鳥取県には約5,000人 66か国の外国人がいる時代となっている。外国人との交流も、外国に行ったり短期間来たりして交流していたが、長期的に外国人が日本に住む時代となった。多様な文化と共生し、外国人がいないと会社の経営が成り立たないというところもある。いずれそのような波が日野町にもやってくる。若い方が大勢日野町にくるのには、魅力ある教育改革が必要だと思う。新しい学校づくりを日野町の町づくりの核としてやっていけたらよい。 ・答申を出すのは新しい学校づくりの始まりである。すでに保小中一貫教育で成果をあげているので、様々なアイデアを出して新しい教育を進めて行ってほしい。 義務教育学校は9年生であり、中2の英語の内容を中1で行うことも制度上でき、制度を活かして魅力ある学校をつくってほしい。学校、保護者、地域、教育委員会が一体となって新しい学校をつくって行ってほしい。日野町の学校では児童生徒ひとり1台のパソコン等が整備され、教育環境は素晴らしいと思う。

<p>6. 報 告</p> <p>会 長 課 長</p> <p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 第 6 回審議会の概要について事務局からお願いします。 ・ 事前に配布できなくて申し訳ない。 <p>資料 1 第 6 回日野町校区審議会議事録 前回は答申案を提示し、意見等をいただいた。 修正点などがあればお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間をとるので一読し、その後ご意見をいただきたい。 ・ 皆さんの意見を基に答申案を作成し送付させていただいた。 ・ 議事録について、意見、修正等なし。承認。 <ul style="list-style-type: none"> ・ (2)その他 なし
<p>7. 協 議</p> <p>会 長 課 長</p> <p>委 員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1) 答申の内容について事務局から説明をお願いします。 ・ 前回 12 月 24 日の審議会での意見を反映させ、答申案を作成し 1 月 9 日付けで委員に配布している。 <p>資料 3 日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定について(答申) 修正後の答申案 P18 2. 答申 付記の順番の入れ替え</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)義務教育学校の特色、ふさわしいといえる根拠 追加 (2)「活動を教育課程に組み込む」 追加 (4)「十分に検討する期間を設ける」 追加 (5)追加 1 学年から 9 学年までの児童生徒が使用することを考慮した施設 (9)日野高校 「一貫教育」→「連携教育」 <ul style="list-style-type: none"> ・ P14 資料 2 答申(案) 修正案 説明 <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの審議会の議論及び到達点 <ul style="list-style-type: none"> (1)「という」→「などの」 修正 2. 答申[付記] <ul style="list-style-type: none"> (1)「実情」→「実状」 修正 (4)「学校関係者」 追加 「保護者、地域住民等」 追加 (11)「特に、学校の跡地については、町民の避難場所として十分な機能を併せ持つ複合的な施設とすることについて考慮すること。」 追加 <p>資料 2 の修正案について意見をいただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (11)の修正について P17(4)「小学校統合または義務教育学校の設置等、新たな学校を設立する場合の位置について」に書かれているのは、

<p>委員 委員 委員 会長</p>	<p>新たな学校について避難場所として十分な機能を併せ持つ複合的な施設とすることも考慮すべきということであって、廃校や跡地については書かれていない。</p> <p>修正案は付記に跡地について追加されているが、どうなのか確認した方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申として跡地について提言した方がよいのかどうか。 ・審議会として跡地利用について答申することとなっていないので、修正前に戻した方がよい。 ・修正前に戻した方がよいと思う。廃校、跡地利用については避難施設以外の利用も考えられるため、限定する必要はないと思う。 ・修正案の2. 答申[付記](11)の追加部分を削除する。 ・資料3 答申の後の児童生徒数の表も添付し答申としたい。各学校別、小中学校別、町全体の児童生徒数の推移 H30年度 147人→R1年度 127人→R7年度 100人 児童生徒数が急激に減る。若い世代がいないことが課題。この現状を町執行部、議員、町民全体に知ってもらいたい。新しい学校、魅力ある教育をつくって、他から若い人が入ってくることを目指す町づくりをしていくことが趣旨である。これから教育委員会で新しい協議会等をつくって審議していくことになる。 ・今年の日野町の成人は21人、若い世代が少なくなって町が成り立たなくなるのではないか。魅力ある町、夢を語り、若者が住みやすい町、児童生徒がのびのびと教育できる町をつくっていくために答申している。 ・P16～18 答申 <ul style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒数の対応した学校の在り方について 児童生徒が、お互いに関わり合いながら社会性を身に付けまた学力を伸ばしていくためには、一定程度の規模を保つ学級や学校であることが望まれる。 (2) 保小中一貫教育の視点から見た学校の在り方について 今まで行ってきた保小中一貫教育をより充実させ、中学校卒業時に日野町の未来を創っていこうとする意欲をもった生徒を育成するためには、義務教育9年間の教育目標を設定し、その実現に向けた教育課程を編成して実践していくことが望まれる。 (3) 日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定について <ul style="list-style-type: none"> ① 日野町全地区を校区とした施設一体型の学校
--------------------------------	---

	<p>② 義務教育 9 年間の教育目標を設定</p> <p>③ 受け継がれてきた校風や伝統、地域との関わりを考慮した教育課程</p> <p>④ コミュニティ・スクールの推進</p> <p>(4) 小学校統合または義務教育学校の設置等、新たな学校を設立する場合の位置について</p> <p>今ある校舎の修繕を行うとともに不足する教室等を増築して使用するのが現実的。</p> <p>将来的には保育所も同一敷地内に移設し、日野高等学校とも連携した保小中高の一貫・連携教育を行う教育エリアとして発展させる。</p> <p>跡地については避難場所としての十分な機能を併せ持つ複合的な施設とし、安全な場所に学校を設置する。</p> <p>・ 2. 答申 付記</p> <p>・ 児童生徒数の推移 表</p> <p>・ 2018 年の児童生徒数のデータは必要か。</p> <p>答申 P16「現在の約 78.7%まで減少」は 2019 年と比較して計算してある。推移表の合計の比較は 2018 年と比較した数値となっているため、2018 年の数値はなくてもよい。</p> <p>・ 2018 年の数値があった方が、急激に減少していることがよくわかる。</p> <p>・ 答申(1)「現在の約 78.7%まで減少して」を削除してもよい。</p> <p>・ 「現在の約 78.7%まで減少して」を削除し「令和 7 年度には約 100 人になると推測されている。」とする。</p> <p>・ 付記(4)の「十分に協議の上」「十分に検討する期間」とは何をもって十分とするのか分かりにくい。</p> <p>一方では「できるだけ速やかに」とあり別の表現はないかなと思う。</p> <p>・ 強引にしないというのが根底にはある。</p> <p>・ 「十分検討する期間」を「検討する期間」としたらどうか。</p> <p>・ 期間を設けるかではなく、検討するかどうかということだったので、「十分に検討する期間を設ける」を「検討する」にした方がよい。</p> <p>・ 三者で「検討すること。」に修正する。</p> <p>・ 修正した本体を教育長に答申する。</p> <p>・ 委員の皆さんの学校教育の在り方、町づくりについてなどの熱い思いを語っていただきたい。</p> <p>・ 学校改革は進んでおり、江府町は令和 4 年度から施設分離型</p>
委員	
会長	
委員長	
委員	
会長	
委員	
委員	
会長	

<p>委員</p>	<p>の義務教育学校を始めると聞いた。5・4年制とのことなので、6年生が中学校で学ぶこととなり、鹿野学園と同じやり方だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域代表ではなく一個人として述べさせていただく。第1回目で、学校統合問題は避けて通れないと思った。統合から義務教育学校、施設一体型という話しになって、そのように進んでいってほしいと望むようになった。他の見本となるような学校づくりが理想だと話した。それぞれの地域、保護者としての思いが語られ熱い議論があった。 <p>現在の日野町の学校は非常に環境が整っており、さらに義務教育学校となっていくと思うが、自分の子どもをそのような環境で学ばせたかった、それができなかったことが残念。令和7年までに義務教育学校が発足するだろうが、なかなか難しいこともある。できるだけ速やかに進んで、日野町の学校に行ってみたいと思われる学校づくりを期待している。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育予算をしっかりとつけていただき、学校教育環境は整っていることに感謝している。 <p>少子化に対しての方向性を出す必要があると悩んでいた。日野中学校で防災教育授業があり、地域の方と一緒に議論をする場面があった。義務教育学校となれば、小学生も一緒になって議論でき、地域とともにある学校づくりができる。今後コミュニティ・スクールも含めて、地域をどんどん巻き込んでいけば良い教育ができると思った。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の子が小学生となるが、6年生になる頃には義務教育学校となっていれば、その方がよいと思う。 <p>小学校になって別れるのは寂しいと言っているのを聞くと、小さい町だからできること、よい方向に向かっていると思うし、委員のいろいろな思いを聞いてうれしかった。義務教育学校になっても、地域の方がそのような目で見えてくれたら理想の学校になっていくだろうという希望が大きくなった。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前PTA会長からの話を受け、根雨小PTA代表として参加。視察や委員の意見を聞くことは大変勉強になった。 <p>保護者として、子どもが小さい頃はより良い生活習慣を身に付けさせるために頑張り、学校ではしっかり学力をつけてほしいと思うし、最終的には仕事をして税金を納める日野町民になってほしいという願いはある。</p>

	<p>未来を考えると、小学校低学年の子は今ない職業に一定割合就職しているかもしれない。</p> <p>社会が目まぐるしく変化し、10年、15年経つと今ある職業が無くなり、今無い職業が新たに生まれている時代となるのではないか。子どもにどんな能力を身に付けさせたらよいか見当もつかない。</p> <p>AIが発展しても、あくまでビックデータに裏付けされた能力であり、人間が持っている何もないところから作り上げる能力とか、表現する能力はAIにはない。</p> <p>人間は大きくなって能力を身に付けていくとき、答申にあるように日野町の未来を創っていく力を育ていけるように、学校でも創造力が身につく教育をしてほしいし、地域や保護者の立場からもそういった子どもたちを育てていきたいと思っている。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に地域の方が来られるような、開かれた学校になることを期待している。 <p>施設一体型の義務教育学校が望ましい、分離型は難しい。職員室が別だと難しい、ひとつだと教員がひとつになれて結果子どもたちもひとつになれる。これが校舎が別だと難しいだろうと思う。</p> <p>行政も分庁舎となった場合、本当に職員がひとつになっているのか、別れていると分からないこともある。</p> <p>湖南学園の視察のとき、1年生から9年生まで集団登校している姿を見ていいなと思ったが、日野町ではできるかどうか。施設一体型の義務教育学校となれば、9年生が1年生に働きかけたり遊んだりする機会はかなり増えるので期待している。</p>
委員	<p>今年黒坂小学校1年生が1人ということもあり、できるだけ速やかに進めていくべきだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末に徳島県の体育研究会に行ったとき、小学校3人と中学校3人合わせて6人で体育をしていた。ここまで来たかと驚いた。
委員	<p>町制60周年を機に学校の新たな枠組みが決まるのは大きなことだと思う。施設一体型の義務教育学校が出来つつあるのは日野町にとってすごいこと。中身を充実したものにしていかないといけない。学校、保護者、地域がひとつにまとまっていく学校をつくっていかれたらと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が10年前に江府町で学校統合を経験した。地域か

<p>委員</p>	<p>ら学校がなくなる思いを聞いたが、地域の方がどんどん学校に子どもたちに会いに行く学校になるとよいと思っている。地域住民が学校に参画し、学校がなくなるマイナスのイメージではなく、日野町全体でしっかり子どもたちを見ていく、希望のある学校であるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校とは子どもたちの声が響き渡り、先生と一緒に活動しているというイメージ。 <p>学校評価委員のときは、子どもや先生の声聞くことが多かった。今は子ども教室に迎えに行くと、1年生から6年生まで関わり合いながら生き生きとしている。</p> <p>1人の1年生が春はじっとしていたが、今は6年生に声をかけたり遊んだりして成長している。</p> <p>施設一体型の義務教育学校で、1年生から9年生となれば、子どもたちは意欲的に成長させられるのではないか。</p> <p>日野町はいろいろな教育機器があり、子どもたちは日々接し調べ学習をし成長につながっている。それが子どもの将来につながり、日野町に返してくれると期待している。</p> <p>施設一体型の義務教育学校が、早期に実現されることを望んでいる。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 江府町の校区審議会委員でもあるが、江府町は新しい中学校ができていたので、分離型で進んでいくことは決まった状況ではあった。小中一貫校か義務教育学校かという議論があり将来的に義務教育学校がよいという結論が出て、すぐに校歌や校章など具体的な話が進められている。 <p>令和4年度開始が決定しているので、早めに子どもたちや保護者に投げかけている状況。準備委員会が4月から立ち上がることになっている。</p> <p>黒坂小学校の校長のときは、小規模校の良さをどれだけ出していくのかという思いで勤めていたが、将来的には統合もあるかもと考えていた。その時に施設をどのように地域で活用できるかを考えたりしたが、できれば黒坂小学校が続いてほしいという気持ちでいた。</p> <p>施設一体型であれば、皆さんの気持ちがひとつになり、いろいろなことがやりやすいのは間違いない。</p> <p>子どもたちに早めに情報を伝え、意見を取り入れながら進めればすばらしい学校ができると思う。</p> <p>黒坂小学校、根雨小学校それぞれの伝統文化、歴史、自然が継承されていくことが大事。</p>

会 長

夢を語る事ができる学校を目指し、具体的な目標を定めて向かっていくことが必要だと思った。

・準備委員会ができたときも、どんどん意見を出していただきたい。

・将来的に6割くらいは今無い職業に就き、今ある職業はロボットが行うものが多くなると言われている。人類が増えた理由は、人間は工夫し学ぶ、そしてそれを伝えることができるということ。林氏によると、人間は生まれながらにして人間なのか、学ぶこと育てることによって初めて人間になるのではないか。親がいて、学校があつて、子どもがその魅力を学び伝えていくことによって、人類、人間になっていくのではないか。

・学校教育は非常に大事、皆さんが一致団結して新しい教育を創っていくことはすばらしいこと。

児童生徒をどのように伸ばしていくか、これから良いカリキュラムをつくってほしい。

住民がいつでも学校に来て一緒に活動できる多目的、多様な開放された学校を運営してほしい。

ひとりの校長、職員がひとつの職員室で、同じ方向に向いて議論できれば魅力的な学校ができると思う。

・図書室で上級生が下級生に読み聞かせができると、とても良い。ソファやマットがあつて、くつろげる図書室も良いと思う。いろいろな方が学んで育てる仕組みの学校だと、大勢の方が関われるのでよいのではないか。

広島県では不登校の子のための学級をつくり、取り組んだ結果登校するようになり、不登校児がなくなった。また図書室が憩いの場となりたくさん集まるようになった。

・今までの形にとらわれず、羨ましいと思われる日野町の学校をつくってほしい。転入した人から新しい学校の情報を聞いて、いろいろな方が日野町に来るかもしれない。今のまま何もしない時代ではない。起爆剤として新しい学校をつくることによって、よい町づくりができるのではないか。

多くの大人の方が集まれる学校ができたらよい。

これからは勝負、皆でアイデア、意見を出して子どもたちがのびのびと育つよい町に発展してほしいと願っている。

委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

これからもよろしくお願ひします。

8. 答 申	課 長 会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・代表して本名会長より教育長に答申を渡していただきます。 ・日野町立小・中学校等の設置及び校区の設定について答申をいたします。令和2年2月13日、日野町校区審議会。
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫義務教育学校を設置し、よりよい教育を目指し、日野町が発展されることを期待します。 ・平成30年11月19日、第1回校区審議会開催し、日野町の学校の在り方について諮問したところ、熱心に審議いただき本日答申を出していただいたことに感謝している。
	課 長	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校の視察、保護者アンケート、町内学校の視察などを実施し熱心に議論された。 ・7回という回を重ね議論されてきたこと、心強くうれしく聞かせていただいた。 ・これが始まりだという責任を感じている。 ・今後、総合教育会議、教育委員会で考えをまとめて、町長に意見具申したい。 ・準備委員会、住民説明会などを経て、速やかにかつ十分に検討し、教育委員会としてはスケジュールの中で粛々と進めていきたいと思っている。 ・また皆様にご意見を伺う機会もあるかと思うので、今後ともよろしく願いしたい。ありがとうございました。
	課 長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日、答申がまとめられたので一応審議会は解散となるが、議論すべき案件が出た場合は、任期中に意見を伺う機会があるかもしれない。 ・多分これが最後となると思う、長い期間ありがとうございました。 <p>(15:25 審議会終了)</p>

令和2年2月13日

日野町校区審議会